

2025年 粳水分の状況

高温の影響により、例年より出穂が早まっています。気象庁は今後も高温になると予報しており、登熟は早く進み、収穫期の前進が予想されます。高温時には玄米の成熟よりも帯緑色粳の減少が遅れることがあるため、刈り遅れないよう粳水分を確認し、25%になったら収穫を開始しましょう。

8月25日(出穂後36日)現在の状況

・粳水分は24.2%と25%を下回っています。出穂期～測定前日までの積算気温も1057℃と収穫適期の目安に達しています。

・帯緑粳割合の低下は緩慢ですが、写真のとおり玄米の登熟は進んでいます。活青米はほとんど見られず、死青米が混在している一方、茶米の発生が見られています。

・帯緑粳の低下を待ってからの収穫では刈り遅れとなるため、速やかに収穫作業を行いましょう。

* 5月1日植「コシヒカリ」の情報提供は今回で終了します。

粳水分測定結果(玉井試験場内ほ場)

移植期・品種	出穂期		測定日			
			8月13日	8月18日	8月21日	8月25日
5月1日植 コシヒカリ	7月20日	出穂後日数(日)	24	29	32	36
		出穂期～測定前日までの積算気温(℃)	691	836	930	1057
		粳水分(%)	30.1	27.3	25.9	24.2
		帯緑粳割合(%)	86	64	35	17

* (参考) 早期栽培コシヒカリの収穫適期の目安

登熟積算気温950～1150℃、帯緑粳割合15～10%



○5月1日植「コシヒカリ」、出穂後36日(8月25日)の玄米(篩目1.8mm)